

見直し等

【論点】

基準改正の背景や目的

答介護の現場では、ニーズも増え、質の高いサービスが求められているなか、国はいろいろな資格について、研修の時間を長くするなどハードルを上げていく現状がある。一方で、身体介護が必要ではない方も多数おみえになるという現状があり、簡単なサービスについては、その人にあった資格でもってサービスが提供できるようにといった視点で、規制が一部緩和されている。身体介護以外の生活援助サービスの担い手を育成するために、介護職員初任者研修よりも短時間の研修である生活援助従事者研修を創設し、介護現場における人手不足の解消につなげたいという国の考えである。

【論点】
新たな生活援助従事者研修に対する助成の考え

答研修は、県が行うこととされている。詳細が示されたところで、検討していきたい。

6月20日
産業建設委員会

◆議第63号

財産の取得について

● 除雪ドーザ2台

◆議第64号

財産の取得について

● ロータリー除雪車1台

【論点】

除雪車両更新の考え方

答除雪車両は、経過年数や出勤頻度、修繕状況を点数化し、総合的に判断して更新計画を立て、毎年、機械の状況を精査した上で更新することとしている。

【論点】

サイドシャッター付き排土板導入の考え

答サイドシャッター付きの排土板は、雪を前に押すことしかできず、道路の幅員が狭く、家の密集した地域では排雪の効率が悪いいため、今回は導入を見送った。

6月21日
予算決算特別委員会

◆議第68号

平成30年度高山市一般会計補正予算第1号

● 4月に発生した斜面崩落に伴う市道の復旧工事など

【論点】

市道復旧工事に対する国庫の助成見込み

答崩落原因が風化によるもので、災害に起因しないことから、現在県と相談している。

【論点】

工事期間中の通行規制による影響

答期間中は利用者の便宜を図り、片側交互通行とするが、時間全面通行止めも併用する。

【論点】

民間保育園の改修の見直し

答各法人で計画的に進められる。

各委員会の委員長報告の後、採決を行い、すべて全員一致で可決しました。

6月定例会上程議案一覧表

6月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第4号	継続費繰越計算書（一般会計）について	—	報告終了
報第5号	継続費繰越計算書（下水道事業特別会計）について	—	報告終了
報第6号	継続費繰越計算書（農業集落排水事業特別会計）について	—	報告終了
報第7号	繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	—	報告終了
報第8号	事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	—	報告終了
議第60号	高山市税条例等の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第61号	高山市介護保険条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第62号	高山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例及び高山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第63号	財産の取得について（除雪ドーザ）	産業建設	原案可決
議第64号	財産の取得について（ロータリー除雪車）	産業建設	原案可決
議第65号	財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車）	総務環境	原案可決
議第66号	財産の取得について（CD-I型消防ポンプ自動車）	総務環境	原案可決
議第67号	財産の取得について（高規格救急車等）	総務環境	原案可決
議第68号	平成30年度高山市一般会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決

6月定例会の議案賛否一覧

6月定例会の提出議案における各議員の賛否は次のとおりです。
すべての議案において、いずれも全員一致で可決しました。

	伊東	谷村	西田	沼津	榎	山腰	渡辺	北村	岩垣	中蔵	倉田	松山	上嶋	車戸	松葉	木本	溝端	水門	橋本	中田	藤江	谷澤	今井	牛丸	
	寿充	昭次	稔	光夫	隆司	恵一	基一	征男	和彦	博之	博之	篤夫	希代子	明良	晴彦	新一	基一郎	義昭	正彦	清介	久子	政司	武男	尋幸	
議第60～第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。溝端議長は採決に加わりません。